



第41期 中間報告書

2025年1月1日 ▶ 2025年6月30日



創業の志を胸に、
新たな変革と挑戦を積み重ね、
次の時代へと歩みを進めます。

代表取締役社長 下平 雄二

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当社第41期上半期のご報告を申し上げます。

本上半期においても、依然として原材料価格の高止まりや人手不足といった構造的課題が続く中、インフラ老朽化への対応、災害

対策、脱炭素・DXといった社会的ニーズは一層高まりを見せております。

当社ではこれらの環境変化に柔軟に対応すべく、基幹事業の安定運営とともに、戦略的イノベーション創造プログラムをはじめとする研究開発にも引き続き注力し、より実効性の高い社会実装を目指しております。

また、今年5月には創業40周年を迎えることができました。創業時の「一つひとつの仕事に誠実に向き合う」という姿勢は、今も変わらず当社の根幹にあります。過去の積み重ねに安住することなく、時代の要請に即した変革と挑戦を、全社一丸となって推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年12月

令和6年に発生した「能登半島地震」における災害対応の功績が認められ、国土交通省北陸地方整備局より感謝状をいただきました。この感謝状は、能登半島地震発生時に迅速かつ確かな対応を行い、地域社会の安全確保と復旧活動に大きく寄与した企業・団体に贈られるものです。



セグメント別概況 (2025年12月期中間累計)



試験総合サービス事業

売上高 **2,876**百万円

主な事業内容

土質・地質調査試験、非破壊調査試験、環境調査試験



工事総合サービス事業

売上高 **333**百万円

主な事業内容

地盤調査、地盤補強・改良工事、構造物補強工事、土壌汚染浄化工事等



ソフトウェア開発販売事業

売上高 **341**百万円

関連するグループ会社

株式会社アイ・エス・ピー [LandForms (3D測量)]、株式会社アドバンスドナレッジ研究所 [FlowDesigner (熱流体解析)]



その他事業

売上高 **15**百万円

主な事業内容

試験機器販売等





創立40周年+上場10周年の記念式典を開催

皆様のおかげで大きな節目を迎えることができました



1985年5月、長野県長野市にて土質・地質調査試験の個人事業として創業した当社は、今年で創立40周年と、さらに上場10周年を迎えました。これを記念して2025年4月28日（月）、グループ会社を含む社員約500名が参加する記念式典を開催いたしました。会場は東京汐留の大規模イベントホールです。



仕事を任せてくださるお客様の期待に応えたい、裏切りたくないという一心で続けてきました

社長挨拶では、起業を決意した30歳の時から振り返り、様々な苦労や激動の時代背景を経て、40年という挑戦の歴史が語られました。「今思えば甘い考えだったかもしれない」、創業当時をそのように振り返りながら、目の前の一つひとつの仕事に誠心誠意向き

合い続けてきたこと、そして、気が付けばそれが今の土木管理総合試験所の土台となったと語りました。

次の45周年、50周年へ向かって成長し、より多くのお客様に支持される企業であり続けるために、チャレンジ精神を呼び掛けて、最後に社員への深い感謝の言葉が述べられました。

厳かな式典と華やかなパーティー+α

今回の周年式典は、立食形式のパーティーで華やかにプログラムを盛り上げました。社長挨拶からご来賓の挨拶へと続き、盛大な乾杯からの歓談・食事タイムは大いに賑わいを見せ、たくさんの笑みがこぼれておりました。

そして、功労者の表彰、大抽選会が行われました。抽選会は40周年にちなんで40点の景品が用意されました。



ホールの外では40周年を盛大に彩る「オリジナル周年ロゴ巨大パネル」や「フォトスポット」が設けられ記念撮影をして楽しむことができたほか、40年の歴史を写真で振り返る「フォトストーリー展示コーナー」で視覚的にも振り返ることができました。また、これらの装飾・展示が社員有志によって自作されたことも話題を集めました。

新しいDKと懐かしいDKが融合し、特別な節目を祝うあたたかなひとときを過ごすことができました。



新アニメーションTVCF先行上映と創立40周年記念ムービーを披露

TVCFの先行上映にあたっては、はじめにコンセプトの「何気なくもかけがえのないものを通じて、当たり前の日常を支える」というキーワードとストーリー・設定、豪華製作陣が紹介されました。さらに、会社の成長と社員の成長をテーマに記念ムービーが制作され、式典で披露されました。DKで動いてきたこと、その想いとともに各拠点の社員全員の名前が紹介され、感動的なフィナーレとなりました。



新任取締役のご紹介



専務取締役
東京管理部門長 人事部管掌

下平 絵里加
Erika Shimodaira

このたび、専務取締役に就任いたしました下平です。東京管理部門長 人事部管掌も担っております。人事は企業の根幹を支える重要な部門です。社員一人ひとりが安心して働き、持てる力を最大限に発揮できる環境づくりを通じて、組織全体の持続的な成長に貢献してまいります。身の引き締まる思いとともに、責任の重さをあらためて実感しております。株主の皆様、そしてステークホルダーの皆様の価値向上につなげる経営判断を磨いてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



取締役
長野管理部門長 経理部長

中澤 健一
Kenichi Nakazawa

新たに取締役 長野管理部門長 兼 経理部長を拝命いたしました中澤です。これまでの経験を礎に、当社の経営基盤を一層強固なものとし、ガバナンスを充実させ、着実に利益を生み出す組織運営の実現に全力を注いでまいります。また、自然災害やインフラ老朽化といった社会の変化にも柔軟に対応できる、レジリエンスのある経営を目指します。株主の皆様には、引き続き温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。



連結財務ハイライト

売上高



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



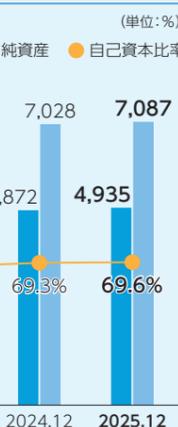
1株当たり中間(当期)純利益



総資産/純資産



自己資本比率



1株当たり配当金



トピックス

■ ソイルセメント材を活用した環境配慮型工法「円形コンバック®」の提供を開始

円形コンバック®工法は、円筒形の溶接金網に内袋をセットし、従来はコンクリートを充填する工法を主体としております。

今回は旭化成アドバンス株式会社、小岩金網株式会社、当社の3社共同研究によってソイルセメント材(*)を内部に充填する環境配慮型円形コンバック®工法として開発を行いました。(特許出願中：粘性土ソイルセメントの製造方法、粘性土ソイルセメント成形体の製造方法)多くのメリットがあります。

現地の土砂を利用することで新たな材料の調達コストを削減することが可能です。そのため、採掘・運搬するためのコストが抑えられ、環境負荷を削減できます。さらに狭小な現場やアクセスが難しい場所でも容易に搬入ことができ、組み立てや移設が簡単で、施工期間の短縮が実現できるため、緊急の災害復旧や短期間での施工が求められる現場において特に有用といえます。

*ソイルセメント材とは：土とセメントを一定の比率で混ぜ、水を加えて適切に混合して作られる建築材料です。



山間部における「ソイルセメントを利用した円形コンバック®」の施工事例



■ 恒例の「グループ会社合同第3回技術発表会」を開催

今回はオンライン開催がメインとなり、オンラインならではの「リアクション機能を利用した投票」を利用して視聴者参加型の発表にするなど、より社員の参加意欲が高まる会となりました。



■ 新しいアプローチのアニメーションTVCFが放送開始

何気なくもかけがえのないものを通じて、当たり前前の日常を支える土木管理総合試験所の仕事をアニメーションで表現しています。長野県千曲市が舞台です。

5月3日(土)からHAB北陸朝日放送(石川県)で、6月4日(水)からSBC信越放送(長野県)でオンエア中です。



■ 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)」評価による融資

当社はPIFの枠組みを利用し、1億円の融資契約を締結しました。

これは、八十二銀行と長野経済研究所が共同で実施しているサステナブル・ファイナンスです。企業活動が経済・環境・社会に与えるインパクトを包括的に分析・評価しながら、事業者の目標や進捗管理を支援する取り組みです。

環境や未来に対して、ポジティブインパクトが期待できる活動を加速させると同時に、ネガティブインパクトを低減する活動も促進してまいります。

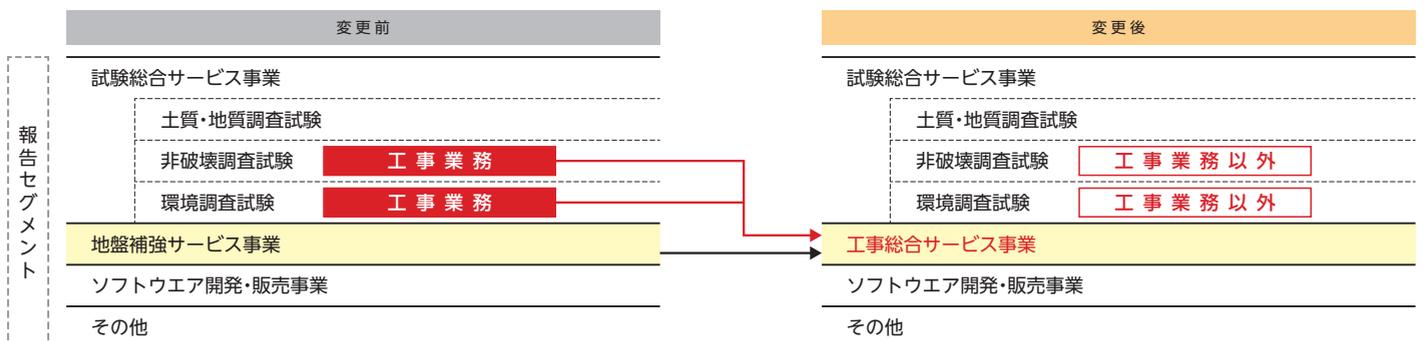


報告セグメントの変更について

■ 2025年12月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更

当社は建設コンサルタント業界にて、幅広い業務をワンストップにて提供しております。各部門における業務の効率化、部門間のシナジー効果の創出に取組み、基幹サービスである試験総合サービス事業をさらに効率よく発展させるため、事業内の工事業務を地盤補強サービス事業(工事業務)に統合することといたしました。

「地盤補強サービス事業」を「工事総合サービス事業」に改名



所属アスリート社員トピックス



君嶋 愛梨沙 選手

難しいコンディション調整が続く中でもハイパフォーマンスを発揮！ メディア露出も増え、積極的な活動で自身の魅力を発信しています

2025年 主な大会成績

第59回
織田幹雄記念国際陸上競技大会
女子100m (優勝)

第109回
日本陸上競技選手権大会
女子100m (3位)

その他の活動報告

2025年1月13日 女性版SASUKEの「KUNOICHI」に出演しました

2025年3月13日 山口県岩国市にて1日消防署長を務めました

2025年6月 1日 株式会社ホリプロとマネジメント契約を締結しました

2025年6月17日 岐阜朝日大学にて講師を務めました

株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



IRメール配信サービスのご案内

最新の各種IR情報をメールでご案内しています。

「株主・投資家ページ」の「IRメール配信登録」からご登録ください。

右記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。https://www.pronexus.co.jp/
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉koekiku@pronexus.co.jp

株主還元施策

配当にかかる基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、株主への剰余金の配当を「安定かつ継続的に実施」していく考えです。また、業績や内部資金の確保などを総合的に判断し、「配当性向30%以上を維持」を基本方針としております。

中間配当金のお知らせ

当中間期の業績を勘案し、期初公表通り中間配当金を1株当たり6.0円といたしました。

2025年12月期

年間配当金 **12.0**円予想

会社概要 (2025年6月30日現在)

商号	株式会社土木管理総合試験所
英文商号	C.E. Management Integrated Laboratory Co.Ltd.
事業内容	試験総合サービス事業 土質・地質調査試験 非破壊調査試験 環境調査試験 工事総合サービス事業 地盤調査、地盤補強・改良工事、構造物補強工事、 土壌汚染浄化工事等
設立	ソフトウェア開発販売事業 その他事業 試験機器販売 1985年10月
資本金	12億587万6,860円
従業員数	連結519名 単体429名
本社	〒387-0001 長野県千曲市雨宮2347-3 〒110-0005 東京都台東区上野5-15-14-5F
試験センター・ラボ	4試験センター 1ラボ
支店・出張所・FC	12支店 5出張所 1営業事務所 10FC

株式等の状況 (2025年6月30日現在)

発行可能株式総数	18,720,000株
発行済株式数	14,237,995株
株主数	9,658名

所有者別株式数 (ご参考)



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
決算期日	12月31日
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会の議決権 12月31日 中間配当金 6月30日 期末配当金 12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6171
公告方法	電子公告
公告掲載アドレス	https://www.dksiken.co.jp/

株式に関する住所変更やその他の手続きについて

株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求、その他の手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株式会社 土木管理総合試験所



見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。